



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

自分の命、自分で守る～交通安全教室～



今年度の交通安全教室を4月末1年生と5年生を対象に行いました。1年生は、安全な歩行や道路横断について、5年生は自転車の安全な乗り方について体験を通して学びました。

1年生は、4人ずつのグループになりボランティアさんや交通指導員の方々に見守られながら、しっかりと歩くことができました。



5年生は校庭にかかれたコースを使って交差点の走行の仕方や手信号等について学んだ他、8の字コースをスピードを落として走行する練習などもしました。

練習をしている様子を見てみると、手信号をするための片手運転の技術や左足を地面につけた状態から発進する技術が十分でない児童が多く見られました。



子供たちの命を守るため、ご家庭でも繰り返し交通安全についての声かけをお願いします。

みんなの命、みんなで守る～避難訓練～

5月初めは、2つの避難訓練を行いました。1つは、地震を想定しての避難訓練。もう1つは洪水を想定しての避難訓練です。

地震を想定しての避難は、教室から、新しい学級の避難経路を通過して校庭に避難しました。洪水を想定しての避難は階段を上って全員が西側校舎の3階以上に避難する校内垂直避難です。

本校は、近年の豪雨を参考とした「想定最大規模降雨」により磐井川が氾濫した場合の浸水範囲に含まれており、浸水の深さは5m～10mと想定されています。また、歩行困難とされる50cm以上の水位が1週間継続する想定となっています。このような状況から、本校では、学校にいる間に磐井川が氾濫して洪水が発生し、保護者への引き渡しができないことを想定して垂直避難訓練を実施しています。避難本部を設置した3階ベランダへは、子供たちの話し声は聞こえず、スムーズな避難を行うことができました。

現実には、磐井川が氾濫するような気象状況の場合は、登校することも困難で、子供たちは各家庭又は指定避難所にいることになると考えます。したがって、このような避難は考えにくいのですが、子供たちには、この避難訓練を通して一関小学校の学区が浸水想定区域であること、もし自宅から避難するとしたらどこに避難すればよいのか等を考え、防災意識を高めてほしいと思います。

